

テキスタイルカレッジ 『染色加工応用講座』

テキスタイルカレッジ「染色加工基礎講座」では、染色理論から繊維別での染色加工技術および繊維製品の品質保証に関する基礎について概説いたしました。「染色加工応用講座」では、基礎講座を踏まえ繊維別染色加工の応用技術だけでなく高機能素材などの要素技術、さらにはエコ対応・環境関連技術や安全性と法規制など現在の繊維業界が抱えている課題を、繊維業界に長年携わってこられた方々によりわかりやすく解説していただきます。講義内容には、最近の技術の進歩や新たな染色加工技術へと展開についても触れていただいています。染色加工に携わっておられる方々のみならず、アパレル製品関連分野をはじめ環境関連技術分野をも含めた幅広い分野の方々を対象としていますので、多数の方々のご参加をお待ちしております。

【期日】平成28年10月14日（金）

【会場】大阪科学技術センタービル（大阪市西区靱本町1-8-4）
(<http://www.ostec.or.jp/data/access.html>)

【内容】予定

（1）機能加工剤（10.00～12.00）

元日華化学、金崎技術士事務所 金崎英夫

最近の機能加工剤は機能の探求だけでなく、安全性、環境への影響を配慮して開発がなされております。ここでは撥水撥油加工剤、防汚加工剤、衛生加工剤、難燃加工剤、水系ウレタン樹脂加工剤を中心に機能、加工処方等に関して解説します。

（2）機能加工「ウール」（13.00～14.00）

元日本毛織、日本羊毛産業協会 専務理事 長澤則夫

ウールは元々多くの機能を併せ持っています。例えばはっ水性、難燃性、形態安定性、消臭性、セットンなどが挙げられます。しかしその性質を個々に評価すると、いずれもが機能性を訴えるには力不足なので、加工により補強しています。この点をわきまえて、加工の考え方とその事例について解説します。

（3）機能加工「合織」（14.10～15.10）

岐セン（株）代表取締役社長 後藤勝則

合織及びその複合織編物の高付加価値を図る手段として機能性付与加工は、テキスタイル加工の重要な要素技術の一つである。機能性付与技術及び融合技術を染料・染色加工・後工程の各工程での考え方、加工手法などを事例に沿って解説します。

(4) 機能加工「綿」(15.20～16.20)

倉敷紡績(株) 繊維事業部 技術部門技術部 開発課 課長 勝圓 進

天然繊維である綿の人類との関わりは歴史的に古く、適度な吸水、吸湿性や風合いの柔らかさなどの特長を生かして、今なお代表的な繊維として様々な分野で使用されています。その一方で、機能性付与についての研究開発も盛んに行われていますので、これらの動向について紹介します。

(5) 評価(16.30～18.30)

(一社) 繊維評価技術協議会 参事、日本繊維機械学会フェロー 越智清一

我が国が得意とする各種機能性繊維の分類例、機能性試験方法の JIS、ISO 標準化提案状況を紹介したあと「清潔」「安全・安心」「快適性」及び「イージーケア性」カテゴリー別の代表的な機能性について、その付与メカニズムと評価方法について解説します。

【協 賛】 大阪染色協会

【定 員】 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

【参加費】 会員 15,000 円, 協賛団体会員 15,000 円, 非会員 23,000 円
学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

【申 込】 「テキスタイルカレッジ染色加工応用講座」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。

【申込先】 日本繊維機械学会

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

FAX : 0 6 - 6 4 4 3 - 4 6 9 4 / E-mail : info@tmsj.or.jp

平成 28 年 10 月 14 日 (金) 開催

テキスタイルカレッジ「染色加工応用講座」参加申込書

フリガナ

氏 名 : _____

勤務先 : _____

所属部課名 : _____

繊維分野の就業年数 _____ 年

所在地 : 〒 _____

連絡先 TEL : _____

E-mail: _____

会員種別 : _____

連絡事項 :

今後、本学会からの開催行事案内メール配信を

_____ 希望する . _____ 希望しない

希望するを選ばれた場合メールアドレスを記載下さい

E-mail: _____